

- 問1 平安時代初期に、桓武天皇が坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命して東北地方へ派遣した目的と、その結果についての説明として最も適切なものはどれか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 仏教の力によって国家の混乱を鎮めるためであり、坂上田村麻呂は東北地方に多くの国分寺を建立して民衆の教化に努めた。 | 2. 関東地方で自立した勢力を築こうとした平将門を討伐するためであり、坂上田村麻呂は武士の先駆けとして大規模な反乱を鎮圧した。 | 3. 朝廷の支配を東北地方まで広げるためであり、坂上田村麻呂は胆沢城を築くなどして蝦夷の抵抗を抑え、支配を強化した。 | 4. 大陸の唐や新羅との交易ルートを確保するためであり、坂上田村麻呂は東北の海岸線に港を整備し、海外文化の導入を促進した。 |
|---|---|--|---|
- 問2 平安時代の仏教に関する記述のうち、最澄と彼が創始した宗派について正しく述べているものはどれですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---|
| 1. 全国を行脚して治水工事や橋の建設を行い、庶民から「行基」と慕われた。 | 2. 唐から帰国後、高野山に金剛峰寺を建立して、真言宗の教えを広めた。 | 3. 唐から帰国後、比叡山に延暦寺を建立して、天台宗の教えを広めた。 | 4. 遣唐使とともに中国へ渡り、日本で初めてとなる本格的な仏教の戒律を伝えた。 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|---|
- 問3 12世紀の日本と諸外国との貿易に関する記録には、ある人物が航路や港を整備して貿易を拡大させたことが記されています。この人物が、武士として初めて就任した最高官職の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|------------------|-------------------|-----------------------------|
| 1. 幕府を開くために朝廷から任命される征夷大將軍 | 2. 成人後の天皇を補佐する関白 | 3. 天皇に代わって政治を行う摂政 | 4. 朝廷の最高機関である太政官のトップである太政大臣 |
|---------------------------|------------------|-------------------|-----------------------------|
- 問4 11世紀末、後三条天皇のあとを継いだ白河天皇は、天皇の位を退いた後も「上皇」として政治の実権を握り続けました。それまでの藤原氏を中心とした摂政や関白による政治を抑えるために始まった、この政治形態の名称を選びなさい。 (2016年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 院政 | 2. 武家政治 | 3. 摂関政治 | 4. 親政 |
|-------|---------|---------|-------|
- 問5 平安時代末期の1156年、崇徳上皇と後白河天皇の対立を背景に、摂関家や武士団も二手に分かれて戦った政変が起こりました。この争いをきっかけに武士の力が朝廷に認められ、その後の平氏政権の誕生へとつながる重要な歴史的事象は何ですか。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 応仁の乱 | 2. 保元の乱 | 3. 平治の乱 | 4. 承久の乱 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問6 平安時代の政治の変遷について述べた記述のうち、白河上皇が院政を開始するより前の時期に行われていた、摂関政治の仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---------------------------------------|---|
| 1. 藤原氏が天皇の母方の親戚となり、摂政や関白の職を独占して政治の実権を握った。 | 2. 有力な武士が征夷大將軍となり、鎌倉に幕府を開いて全国の武士を統制した。 | 3. 位を退いた天皇が上皇となり、摂政や関白を抑えて「院」で政治を行った。 | 4. 唐の制度にならって律令を整備し、中央集権的な官僚制によって政治を行った。 |
|---|--|---------------------------------------|---|
- 問7 藤原兼家から道長、頼通へと続く藤原氏の系図と、当時の皇室の系図を照らし合わせると、藤原氏が「摂政」や「関白」の役職を独占していたことが分かります。こうした役職の使い分けについて述べた、次の文の空欄にあてはまる組み合わせとして正しいものを選びなさい。
「藤原氏は、天皇が幼少である時には（X）として政治を代行し、天皇が成人した後は（Y）として天皇を補佐することで実権を維持した。」 (2021年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|-------------------|
| 1. X：関白 Y：摂政 | 2. X：摂政 Y：関白 | 3. X：執権 Y：連署 | 4. X：太政大臣 Y：征夷大將軍 |
|--------------|--------------|--------------|-------------------|
- 問8 藤原道長が、「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることもなしと思えば」という歌を詠んだ時期の背景として、最も適切なものはどれか。 (2016年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 末法思想が広まり社会が不安に包まれるなか、極楽浄土へ行ける確信を得たことを感謝した。 | 2. 源氏や平氏といった武士の台頭を抑え込み、貴族だけの平和な世の中を維持することに成功した。 | 3. 自らの三人の娘がそれぞれ天皇のきさきとなり、摂政・関白として権力の絶頂に達していた。 | 4. 律令制度が崩壊するなかで、独自の新しい法律を制定し、天皇に代わって直接国を統治するようになった。 |
|---|---|---|---|
- 問9 平安時代、藤原道長に代表される藤原北家は、天皇が幼少のときには「摂政」として、成人した後には「関白」として政治の実権を握りました。このように、天皇の母方の親戚（外戚）としての立場を利用して権力を振るった政治体制を何と呼びますか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 1. 院政 | 2. 律令政治 | 3. 武家政治 | 4. 摂関政治 |
|-------|---------|---------|---------|
- 問10 1086年に子の堀河天皇に位を譲った後、上皇として初めて本格的な院政を開始した人物は誰ですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 白河天皇 | 2. 後醍醐天皇 | 3. 桓武天皇 | 4. 聖武天皇 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問11 平安時代に藤原氏が摂政や関白の職に就き、政治の実権を握り続けた仕組みについて、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 全国の公地をすべて藤原氏の私有地として没収し、経済的な基盤を独占することで権力を確立した。 | 2. 天皇の位そのものを藤原氏が世襲する制度を確立し、一族の中から天皇を輩出し続けた。 | 3. 自分の娘を天皇のきさきとし、生まれた子を天皇の位につけることで、天皇との間に外戚関係を築いた。 | 4. 有力な武士団と結びつき、武力によって天皇を威圧することで政治の主導権を確保した。 |
|--|---|--|---|
- 問12 平安時代の中期に、藤原氏が代々受け継いだ「摂政」と「関白」という官職について正しく説明したものはどれですか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 天皇が位を譲り上皇となった後も、摂政や関白として引き続き政治の実権を握った。 | 2. 地方の反乱を鎮圧するために、武士のリーダーが摂政や関白に任命されて実権を握った。 | 3. 外国との貿易を独占するために、有力な貴族が摂政や関白となって経済の実権を握った | 4. 天皇が幼少のときには摂政として、成人した後には関白として、政治の実権を握った。 |
|---|---|--|--|
- 問13 最澄が比叡山に延暦寺を建立した背景にある、仏教と国家の関係性についての説明として最も適切なものはどれですか。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 現世での利益を得るために、呪術的な儀式を最優先した。 | 2. 武士の台頭を抑えるために、独自の軍勢力を維持しようとした。 | 3. 仏教の力で国家を災いから守り、平和を維持しようと考えた。 | 4. 貴族一人ひとりの私的な繁栄を祈祷することを最大の目的とした。 |
|-------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
- 問14 平安時代中期、藤原道長・頼通の親子が約50年間にわたって実権を握った「摂関政治」の仕組みについて説明した文として、最も適切なものを次のの中から選びなさい。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 天皇が位を退いて上皇となった後、院庁という役所を開いて、天皇に代わって直接政治を行う体制を整えた。 | 2. 唐の制度にならって律令を整備し、公地公民の原則に基づき、班田収授法によって全国の土地と人民を直接支配した。 | 3. 地方の武士団を組織して軍勢力を背景に朝廷を圧倒し、六波羅探題などの機関を置いて政治の主導権を握った。 | 4. 自分の娘を天皇の后（きさき）とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の外祖父（母方の祖父）として勢力をふるった。 |
|--|--|---|--|